

## <<< エクスプレッション入力 >>>

外部エクスプレッションペダルを接続するジャックは本体の左側で、TRS仕様のケーブルを使用してください。

- ・当社ではMoog社製、EP-3を推奨しております。EP-3をご使用の際はアウトプットの調整ノブを最大にご使用ください。
- ・アバランチランは上記の機種以外のエクスプレッションペダルでのご使用は保証しておりません。

## <<< フレキシ・スイッチング >>>

この製品にはフレキシ・スイッチ (Flexi-Switch®) 機能が搭載されています。電子リレー方式のトゥルーバイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ (アンラッチ式) としても使用可能です。

- ・ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにしたい時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- ・モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

## <<< 電源 >>>

- ・消費電流: 410 mA
- ・購入時に付属されているアダプターを使用するか、同等仕様のアダプターの使用をお勧めします。

## <<< Tech Specs >>>

- ・24-bit 96kHz A/D&D/Aコンバーター
- ・S/Nレシオ: 115dB
- ・入力インピーダンス: 1 MOhm
- ・出力インピーダンス: 100 Ohm
- ・原音は全てアナログ
- ・全てのデジタルエフェクト音は20Hzから20kHzのフリークエンシーレスポンス
- ・リレー方式のトゥルーバイパスかバッファー付きバイパスの選択可能

## <<< サイズ (サイズ) >>>

12.065 x 6.35 x 5.715 (cm)

## <<< 付属品 >>>

取扱説明書×1  
保証書×1  
安全上のご注意×1  
ACアダプター×1

### 製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口  
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)  
TEL: 0570-056-808 (ナビダイヤル) または 053-533-5003  
URL: <https://jpyamaha.com/support/>  
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

### 修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター  
営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)  
TEL: 0570-012-808 (ナビダイヤル) または 053-460-4830

### 輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL: 03-5488-5445



[www.earthquakerdevices.jp](http://www.earthquakerdevices.jp)  
©2020 EarthQuaker Devices LLC

# Avalanche Run™



説明書

このたびはアースクエイカーデバイススのアバランチラン、タップテンポ付きステレオディレイ&リバーブを購入して頂きありがとうございます!ご使用の際はこの説明書を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応できると思っていますので是非お読みください。

アバランチランは当社の定番ディレイ、ディスパッチマスターをさらに別次元へ押し上げつつ、使い易さも追求した物です。リバーブとディレイは一緒に使われる事が多いので、これ一つで多様な空間系の音色を再現できるでしょう。リバーブとディレイを同時にでも別々にも使用可能です。アバランチランは強力なDSPを採用しており、様々なタイプのアンビエント感を体験できますが、操作性は可能な限りシンプルに行える様に心がけ開発いたしました。一度設定を理解すればどんなアンビエントサウンドも思いのままです!

スタジオオリエティーのプレートスタイルのリバーブと、デジタルでありながら暖かく、それでいてクリアな最大2秒までのディレイタイムを得る事が可能で、多様な使い方に対応できる様々な設定ができます。リバーブの調整はDecayとMixで行い、3つのディレイモード (Normal/Reverse/Swell) を搭載し、Normal選択時はディレイとリバーブは普通に出力され、Reverse選択時はディレイの出力が反転されリバーブを通常のまま、Swell選択時はピッキングの強弱に合わせて、ボリュームを使用したバイオリン奏法の様なエフェクト効果を得る事が可能になります。

アバランチランはエクスプレッションペダルを接続して外部から6つの違うパラメーターをリアルタイムにコントロールする事が可能です。さらにTap Tempo付きで6種のディレイのレシオを選択でき、トゥルーバイパスかバッファ付きバイパスの選択が可能で、バッファ付きバイパスを使用した場合は残響音を5つの長さから選択でき、アバランチランをオフにした場合にも残響音を残す事ができます。昔のテープディレイに搭載されていたローファイなサウンドオンサウンドモードの様なループとして使用するモードも搭載しています。

レコーディング現場でも有効なステレオインとステレオアウトに対応。Tap Tempoスイッチはディレイのテンポの設定以外に以下の設定で使用できます。NormalとSwellのモード時にTap Tempoスイッチを踏み続けるとアバランチランを発振させる事が可能です。ReverseモードではTap Tempoスイッチを踏み続けている間のディレイはNormalのディレイに戻りスイッチを放すと再度Reverseディレイに戻ります!

## <<< コントロール >>>

**Time:** ディレイタイムの設定。0msから最大2000ms近くまで設定可能です。

**Repeats:** ディレイのリピートの回数の設定。0からほぼ無限のリピートまで設定できます。

**Tone:** ディレイ音の音色の設定。原音には影響しません。左に回すと高音を抑え、右に回すと低音が抑えられます。中央に設定する事によってToneをキャンセルする事ができます。

**Mix:** ディレイ音の音量調整。1時の方向まで回すと少しずつエフェクト音が原音に混ざり込みます。1時から3時の方向まではエフェクト音が原音より多くなります。3時の方向以降に回しますとそこから原音の音量が下がり、最大でエフェクト音のみの出力となります。

**EXP:** 外部のエクスプレッションでどの機能をリアルタイムで調整するかの設定をいたします。

- ・ **Decay:** リバーブの長さの調整。
- ・ **R Mix:** リバーブの音量の調整。
- ・ **TIME:** ディレイタイムの調整ですが、外部エクスプレッションペダル使用の場合は本体上のノブで調整する物と全く変わります。こちらでのコントロールの場合、本体上のノブでは得られないワイルドな効果が期待できます。
- ・ **Repeats:** ディレイのリピートの調整。
- ・ **D Mix:** ディレイの音量の調整。
- ・ **Toggle** こちらはToggleスイッチの役割を外部エクスプレッションが行い、ペダルをかかと側に戻した状態では普通のディ

レイで、つま先側に踏み込んだ状態でリバーズディレイになります。リアルタイムでコントロールした場合はディレイの残響音が普通とリバーズを徐々に行き来致します。

**Ratio:** タップテンポ使用時のディレイの符割の設定です。

- ・ **1/1:** クォーターノート
- ・ **3/4:** 符点8th
- ・ **2/3:** クォーターノート三連符
- ・ **1/2:** 8thノート
- ・ **1/3:** 8thノート三連符
- ・ **1/4:** 16thノート

**Decay:** リバーブの長さの設定。左に回すと短く、右に回すと長くなります。

**Toggle Switch (モードセクター):**

- ・ **Normal:** こちらがスタンダードなディレイとリバーブのモードになります。
- ・ **Reverse:** ディレイ部分のみが反転され、リバーブは通常に出力されます。
- ・ **Swell:** バイオリン奏法の様になります。

**Mix:** ーブの音量の調整になります。(ディレイの調整時と同じく) 1時の方向まで回すと少しずつエフェクト音が原音に混ざり込みます。1時から3時の方向まではエフェクト音が原音より多くなります。3時の方向以降に回しますとそこから原音の音量が下がり、最大でエフェクト音のみの出力となります。

## <<< 各モードの詳細 >>>

**Normal:**

- ・ ディレイ、リバーブ共に普通に出力されます。
- ・ リバーブは回路上ディレイの後に繋がれておりステレオで出力されます。
- ・ 全てのコントロールは通常通りに機能します。

- ・ タップテンポ使用時は、一度タップスイッチを押すと前にセットしたテンポはキャンセルされ、新たにセットしたテンポになります。
- ・ タップテンポを踏み込んだ状態にするとディレイを発振させる事ができます。ショートディレイ使用時は発振が直ぐ始まり、ロングディレイ使用時は踏み込んだ後に徐々に発振が始まります。

**Reverse:**

- ・ リバーズディレイと通常のリバーブ。
- ・ リバーズディレイのレシオは常に1:1になります (Ratioのノブ上の設定はキャンセルされます)。  
**プロのコツ:** 上記のタップテンポスイッチを使用してディレイを通常のディレイに反転させている間はRatioスイッチが有効になりますので、リバーズディレイを使用時にRatioスイッチをお好みの所に設定しておいて、タップテンポスイッチか外部エクスプレッションペダルを利用してディレイのモードをNormalとReverseを行き来してユニークでリズミックなディレイを得る事ができます。

**Swell:**

- ・ ギターのボリュームを徐々に上げて行く様な効果が得られます。こちらは出力音全体に効きます。
- ・ リバーブのMixノブで音量の変化のスピードを調整し、右に回す程ボリュームの上がり方が長くなります。
- ・ 入力信号の強さによってSwellの感度が変わりますので、断続的に音を出さず、単音、和音どちらでもスタッカートで演奏して、弦楽器の場合は弾いていない余分な弦をミュートすると効果が分かり易いです。

## <<< Tails Mode >>>

Tails Modeはアバランチランをオフにした後でもエフェクト音が自然と減退されますので、音の途切れ等気にせず使用できます。Tails Modeで使用をご希望の場合は一度電源を抜いて頂き、まず以下のご希望のセッティングにセットしてください。下段の白いノブRatioで行います。

**Tails Modeの設定の仕方:**

- ・ 電源を抜く
- ・ Ratioを以下の一つに設定する
  - ・ **1/4** トゥルーバイパス
  - ・ **1/3** ショート
  - ・ **1/2** ミディアム
  - ・ **2/3** ロング
  - ・ **3/4** ご希望の長さを設定できます - 上段のRepeatsでご希望の長さを設定してください。その際、Tapを踏み続ける事によってディレイを発振させる事ができ、Tapスイッチを素早く二回押す事によって残響音を切る事ができます。
- ・ **1/1** サウンドオンサウンド - アバランチランをオフにした際の残響音が永遠にリピートされます。その際、Tapスイッチを2回素早く踏むと残響音を切る事ができます。

## <<< 入出力、信号経路 >>>

インプットとアウトプットはエフェクター上部に有り、電源は9V、410mAです。原音は回路上ステレオで通過し、ディレイの信号は二つのラインのモノでリバーブはステレオです。

**入出力、信号経路**

インプットとアウトプットはエフェクター上部に有り、電源は9V、410mAです。原音は回路上ステレオで通過し、ディレイの信号は二つのラインのモノでリバーブはステレオです。

**モノでご使用の場合**

LeftインプットとLeftアウトプットをご使用ください。

**ステレオでご使用の場合**

インプット、アウトプット同時にLeft、Rightをご使用ください。

**モノ入力、ステレオ出力で使用の場合**

Leftインプットを使用し、Left、Rightのアウトプットをご使用ください。

- ・ リバーズモードでの使用の場合タップテンポスイッチを押し込んでいる時のみディレイを反転し通常のディレイを出力できます。  
**プロのコツ:** EXPノブがToggleポジションの時に外部エクスプレッションペダルを使用する事によって、NormalとReverseをリアルタイムでコントロール出来ます。その際はタップテンポスイッチでディレイを発振させる事が可能になります。

- ・ Swellモードの場合はLeftとRightの入力、原音とエフェクト音がモノになります。
- ・ タップテンポを踏み込んだ状態にするとディレイを発振する事ができます。ショートディレイ使用時は発振が直ぐ始まり、ロングディレイ使用時は、踏み込んだ後に徐々に発振が始まります。

- ・ 上記のご希望のセッティングが決まった後、Activeスイッチを押し込んだまま電源ケーブルを差し込んでください。2秒程経ちますとActiveスイッチのLEDが緑に点灯しますので、スイッチを離してください。これでTails Modeの設定が完了です。
- ・ このモードのバイパス時は、アバランチランにはバッファが入りLEDは緑です。
- ・ この設定が終了した後にRaitoをご希望のディレイの符割に設定にしてください。

**トゥルーバイパスで使用に戻したい場合:**

- ・ 電源を抜く
- ・ 下段のRatioノブを1/4に設定します
- ・ Activeスイッチを押し込んだまま、電源ケーブルを差し込んでください。そのままだ2秒程経ちますとActiveのLEDが赤に点灯しますので、スイッチを離してください。これでトゥルーバイパスモードの設定が完了です。
- ・ このモードの場合は、アバランチランをオフにした後は、エフェクト音、残響音は出力されずLEDは赤です

**面白い使い方**

インプットのRightを使用し、Left、Rightのアウトプットを使用する事によって、Leftチャンネルがエフェクト音のみ、Rightチャンネルがご希望の設定した通りの通常の (エフェクト音と原音とが混ざった音) 音が出れます。例えば、エフェクト音のみのLeftチャンネル用のアンプを用意し、Mixコントロールでエフェクト音の分量をコントロールします。トゥルーバイパス時にはLeftのエフェクト音用のアンプからは原音は出ませんが、Trails Modeではアバランチランをオフにした後も、エフェクト音用のアンプからは残響音が設定したご希望の長さで、いつまでも出力できます。設定次第ではかなり大胆な空間系の音が演出できるはずです!